

2017年11月14日

## 米大統領選から1年 資金流出入からみる投信市場の変化

- 米大統領選後のトランプラリーによる株式市場の活況は投信市場にも影響を与えており、リターンはもちろん資金流出入においてはアセットクラスと決算回数の2点から、前年と比較して大きな変化がみられた。
- 個別ファンドの資金流出入状況を確認すると、アセットクラス全体では大幅な資金流出となったカテゴリーのファンドの一部が流入上位にランクインするなど、全体の傾向とは異なる動きがみられている。



ファンドアナリスト  
標（しめぎ） 陽平

### 1. アセットクラス別の資金流出入状況

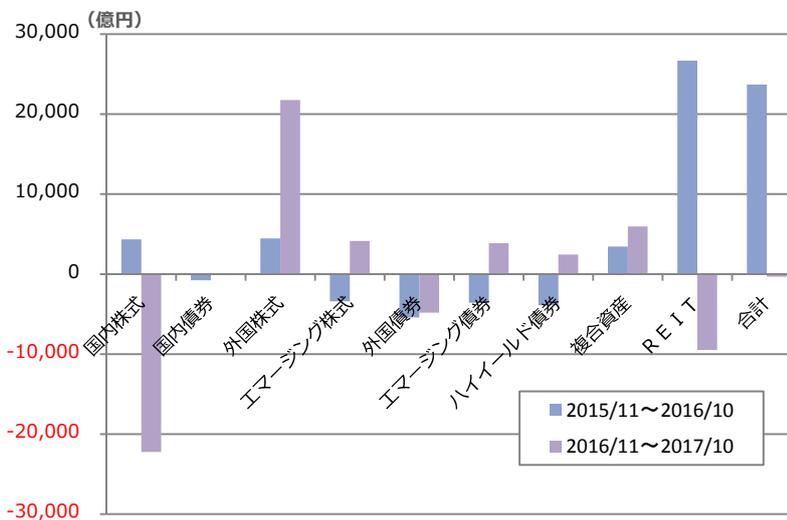
米大統領選後1年が経過した。トランプ新大統領が掲げるインフラ投資や減税といった財政政策に注目が集まり、株式市場は「トランプラリー」と呼ばれる活況を呈したが、投信市場においても資金流出入について、いくつかの変化がみられている。

図表1はアセットクラス別の資金流出入額を示したもので、米大統領選までの1年間と米大統領選以降の1年間の累計資金流出入額を比較している。顕著であったのは、国内株式型から多額の資金が流出した一方、外国株式型が大幅な資金流入超となった点である。

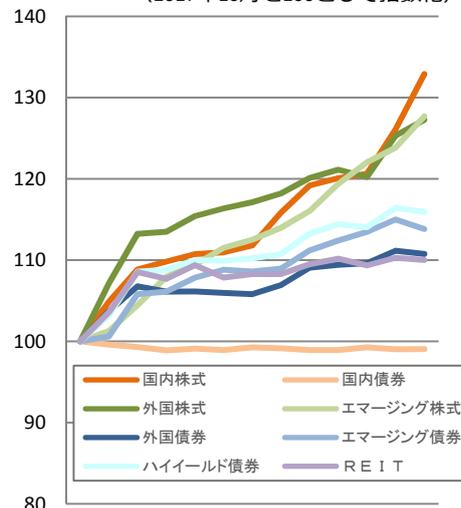
図表2のとおり、国内株式型、外国株式型ともに直近1年間で大幅にリターンが上昇しているが、上昇相場で利益確定売りが出た国内株式型と、更なる上値を迫る資金が流入した外国株式型とでは対照的な展開となった。

他方で、前年3兆円近くの資金を集めたREIT型については、直近1年間で1兆円近くの資金が流出した。世界的な景気回復により米国を始めとする主要国の中央銀行が金融引き締め動くなど将来的な金利上昇が懸念されており、パフォーマンス悪化による配金の削減などが影響したものと考えられる。

図表1：アセットクラス別の資金流出入状況



図表2：直近1年間のパフォーマンスの推移 (2017年10月を100として指数化)

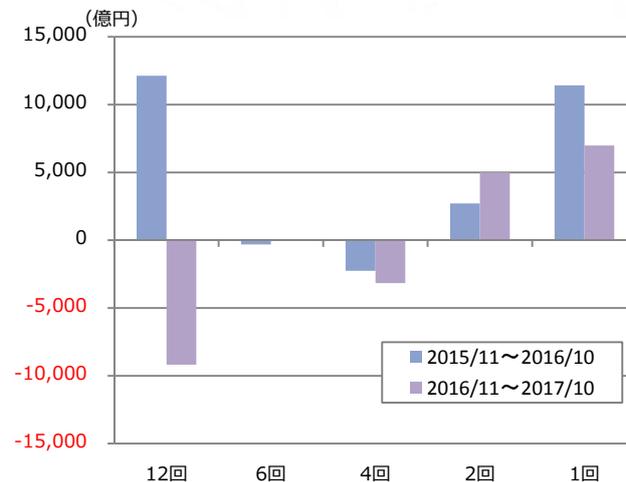


## 2. 決算回数別の資金流出入状況

図表3は決算回数別の資金流出入状況を示したものである。米大統領選までの1年間で最も資金を集めていた毎月決算型（年12回）は、直近1年間で1兆円近くの資金が流出している。既に確認した毎月決算型のREITファンドの流出による影響が大きい。

一方で、複利効果を得やすい年1回、年2回に資金が流入している。長期投資に対する理解が進んだとも考えられるが、長期投資に適さないとされるテーマ型株式ファンドも相当程度に含まれており注意が必要である。

図表3：決算回数別の資金流出入状況



## 3. 個別ファンドの資金流出入状況

最後に、個別ファンドの資金流出入状況について確認する。図表4のとおり、REIT型の代表的な3ファンドが前年と直近1年で対照的な動きとなった。

他方で、「野村PIMCO・世界インカム戦略ファンドA」や「ひふみプラス」など、アセットクラス全体では資金流出となったカ

テゴリーのファンドが直近1年間の流入上位にランクインした。両ファンドともにリスクを抑えながらリターンを獲得することに成功しているパフォーマンスが優れたファンドであり投資家の人気を集めている。販売会社も着実に増加していることから、今後も資金が流入することが想定される。

図表4：個別ファンドの資金流出入状況

【米大統領選までの1年間】 (2015/11~2016/10)

【米大統領選後の1年間】 (2016/11~2017/10)

No. ファンド名	運用会社	純資産額 (億円)	分類	流出入額 (億円)	No. ファンド名	運用会社	純資産額 (億円)	分類	流出入額 (億円)
<b>&lt;流入上位&gt;</b>					<b>&lt;流入上位&gt;</b>				
1	フィデリティ・USリート・ファンドB	14,577	REIT	8,638	1	LM・オーストラリア高配当株ファンド (毎月分配)	5,462	外国株式	3,683
2	新光US-REITオープン	14,771	REIT	6,046	2	野村インド株投資	5,230	エマーゼン グ株式	2,675
3	ラサール・グローバルREIT ファンド (毎月分配型)	11,673	REIT	3,377	3	野村PIMCO・世界インカム戦 略ファンドA	2,583	外国債券	2,366
4	グローバル・ロボティクス株式 ファンド (1年決算型)	3,669	外国株式	2,475	4	ひふみプラス	3,311	国内株式	1,791
5	ダイワ・US-REIT・オープ ン (毎月決算型) B	6,608	REIT	2,304	5	GSグローバル・ビッグデータ投 資戦略B (ヘッジなし)	2,000	外国株式	1,748
<b>&lt;流出上位&gt;</b>					<b>&lt;流出上位&gt;</b>				
1	野村ドイチエ高配当インフラ関連 株投信 (米ドル) 毎月	3,888	外国株式	-1,764	1	新光US-REITオープン	10,665	REIT	-3,223
2	グローバル・ソブリン・オープ ン (毎月決算型)	6,543	外国債券	-1,112	2	ラサール・グローバルREIT ファンド (毎月分配型)	8,246	REIT	-2,592
3	アジア・オセアニア好配当成長株 オープン (毎月分配型)	4,599	エマーゼン グ株式	-1,079	3	フィデリティ・USリート・ファ ンドB	11,802	REIT	-2,129
4	ピクテ新興国インカム株式ファン ド (毎月決算型)	3,001	エマーゼン グ株式	-1,045	4	野村ドイチエ高配当インフラ関連 株投信 (米ドル) 毎月	2,402	外国株式	-1,606
5	アムンディ・欧州ハイ・イールド 債券F (トルコリラ)	1,271	ハイイール ド債券	-799	5	グローバル・ソブリン・オープ ン (毎月決算型)	5,610	外国債券	-1,288

- 本レポートに関する著作権、知的財産権等一切の権利は三菱アセット・ブレインズ株式会社(以下、MAB)に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。
- 本レポートは、MABが信頼できると判断した情報源から入手した本レポート作成基準日現在における情報をもとに作成しておりますが、当該情報の正確性を保証するものではありません。
- MABは、本レポートの利用に関連して発生した一切の損害について何らの責任も負いません。
- 本レポート中のグラフ・数値等は、あくまでも本レポート作成基準日までの過去の実績を示すものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 本レポートは、情報提供を目的としたものであり、投資信託の勧誘のために作成されたものではありません。
- 本レポートで分析対象としたのは、公販ファンド(ETF、DC専用、SMA専用、公社債投信等を除いた公募投信)、アセットクラスのカテゴリは弊社分類(MAB分類)による。

#### 【照会先】

三菱アセット・ブレインズ株式会社

アナリスト・ユニット アナリスト第1・第2グループ

標・吉田・福本・勝盛

03-6721-1039

analyst@mab.co.jp

〒107-0062 東京都港区南青山1丁目1番1号 新青山ビル西館8階

URL: <http://www.mab.jp/>

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1085号

加入協会名 一般社団法人 日本投資顧問業協会